

今日のトピック 豪州の金融政策は前回に続き据え置き（2016年10月）
国内景気の堅調な拡大を評価

ポイント1 史上最低の1.5%を維持
前回に続き据え置き

- 豪州準備銀行（RBA）は10月4日に開催した金融政策決定会合で、政策金利を1.50%に据え置くことを決定しました。ブルームバーグ社の集計によると、28名のエコノミスト全員が据え置きの予想でした。
- 消費者物価上昇率は、RBAの注視するトリム平均値（異常値をつけた項目を除いた物価指数）で見ると、16年1-3月期、続く4-6月期とも前年同期比+1.7%と、2四半期連続で目標の下限である+2.0%を下回りましたが、国内景気が底堅く推移しているため、据え置いたと考えられます。

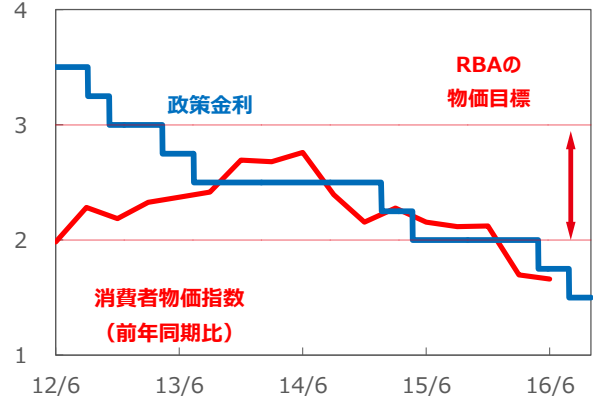
ポイント2 当面は現状維持の見通し
声明文は前回とほぼ同じ内容

- 声明文の内容に、前回から大きく変わったところは見られず、先行きの金融政策スタンスについても言及はありませんでした。
- 豪州経済は、設備投資の不振を、雇用の改善や金利低下等による個人消費、住宅投資等の増大で補い、拡大基調を維持する見込みです。
- ただ、内外のコスト上昇圧力が弱いため、物価上昇率は当面RBAの目標レンジを下回った状態が続くと予想されます。

今後の展開 豪ドルは底堅い展開へ

- 年初に底入れした豪ドルの対米ドル相場は、資源価格の反発や米国の利上げ観測後退を背景に上昇基調を保っています。RBAの政策金利据え置きは、豪ドル相場の支援材料となる見込みです。4日14時時点で豪ドルは0.76米ドル台と、堅調です。

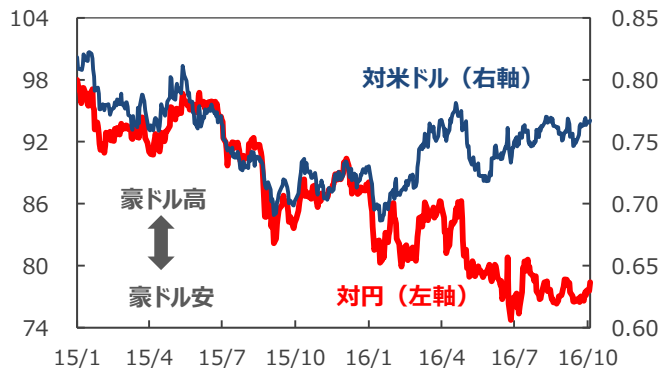
(%) 消費者物価指数と政策金利



(注) 消費者物価指数は2012年4-6月期～2016年4-6月期。消費者物価指数はトリム平均値。政策金利は2012年6月30日～2016年10月4日。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(円/豪ドル) 豪ドルの対円、対米ドルレート (米ドル/豪ドル)



(注) データ期間は2015年1月1日～2016年10月4日。2016年10月4日は日本時間14時時点のレート。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

- 豪ドルは対円でも底堅く推移しそうです。RBAが当面政策金利を維持する見通しであるのに対し、日銀はさらなる追加緩和を行う可能性があるからです。加えて、豪日の金利水準の差を考慮に入れると、円高圧力が高まる公算は小さいと見られます。

ここもチェック! 2016年9月20日 最近の指標から見る豪州経済（2016年9月）
2016年9月16日 オーストラリア中銀の金融政策と「新総裁」（豪州）

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。